



代表取締役
松尾久人

浜通り復興に向けたメッセージ

震災からの復興を本格化する福島相双地域から、地方でも過疎地域でも持続性のある小売モデルを世界に先駆けて発信しませんか。

視覚を持ったAI販売員による地域社会インフラとしての小売ネットワーク構築

福島発！ 未来の日本を変える 地方小売のあり方

震災後10年を経て本格的な復興をスタートした浜通り地域で小売インフラを無人販売システムで構築します。

開発背景

大熊町2店舗を含めて3店舗の無人販売ストアが稼働中です。自販機以上コンビニ以下の市場に対して採算性が取れるモデルを構築していきます。

実用化開発の目標

実用化時期	令和5年度(2023年度)
販売製品・サービス名	画像での商品認識による無人決済システム BAITEN STAND
成果物(最終年度)	復興拠点などの人の集まる施設で住民や利用者の利便性を向上する無人販売ストアの複数拠点によるネットワーク構築。
創出される経済効果	地域や施設の利便性向上による住民や利用者の増加とそれによる他の小売の参入、雇用の拡大させます。

開発のポイント

要素技術	画像認識AIによる商品判別とキャッシュレス決済。店舗スタッフでも新規商品登録が簡単なAIシステム。
開発のポイント	一般的なセルフレジよりも圧倒的に安く導入できるために究極のコンパクト化。原価5万円以下のミニPCで動作します。

実施期間	2022~2023年
実用化開発場所	大熊町他
連携自治体	大熊町

浜通り地域への経済波及効果

人の戻りや集積を促し、他の店舗の進出さらに商業施設への発展につながります。BAITEN STANDにより出店・進出を支援し、年間売上1000万円の店舗が10店舗増えると1億円の経済効果となります。

これまでに得られた成果

大熊町インキュベーションセンターと役場、南相馬ロボットテストフィールドに導入。大熊町おおくまーとのデイリーヤマザキから商品を配送、2023年1月からは冷凍食品を導入し、ニーズを検証中。商品配送などの人手の最小化と売れる商品の選定の仕組み化を目標に取り組んでいます。

株式会社 AIBOD

福島県双葉郡大熊町下野上清水230
☎ 092-982-6090 (担当: 松尾久人)
✉ matsuo@aibod.com

投資規模	1億円未満
開発人数	10名未満
販売時期	令和5年度(2023年度)
販売形態	システム販売、店舗直接運営(仮)
販売見込先	復興拠点施設、工業団地、役場、公共施設、ホテルなど
協業希望先	地域小売、流通企業、不動産



廃炉

ロボット・ドローン

エネルギー・環境・リサイクル

農林水産業

医療関連

航空宇宙